

序 文

徳島大学のキャンパスは、大学事務局が所在する新蔵地区、総合科学部・工学部が所在する常三島地区、医学部・歯学部・薬学部・附属病院が所在する蔵本地区の三地区に分かれています。これらの三地区すべてが遺跡の上に立地していますので、1992年に埋蔵文化財調査室を設置して以来、遺跡の破壊を伴う建設工事に関しましては、工事に先立って埋蔵文化財の発掘調査を実施してまいりました。

このうち常三島遺跡は、江戸時代の徳島城下町遺跡の一つであり、徳島藩中下級武士の屋敷地であったことが広く知られています。埋蔵文化財調査室は、主に工学部の敷地を中心として現在まで十数次にわたって、常三島遺跡の発掘調査を行ってまいりましたが、諸般の事情によって発掘調査報告書の刊行がこの間滞ったままでした。今般、工学部電気電子棟地点の発掘調査報告書を上梓できたことで、責務の一端をようやく果たして頂いたことになります。

本書で報告します電気電子棟の敷地は、平成14(2002)年に発掘調査を実施いたしました。当該地は、武家屋敷が立ち並ぶ前には、徳島藩の初期船置所となっていたとの記録が残っており、当時、工学部の南側は安宅島と呼ばれ、阿波水軍の基地が置かれた場所でありました。

発掘調査の結果、船置所が置かれていたことを示す可能性の高い素掘り船入状遺構が発見されました。さらに、船置所が現在の安宅へ移転し、屋敷地になった後も石組み船入状遺構を設置して、屋敷地から助任川へ出ていた可能性が高まってまいりました。

調査面積が狭いこともあり、それらの全貌を確定するには至っていませんが、今後、常三島遺跡の発掘調査報告書を順次刊行していく中で、江戸時代の徳島藩初期船置所の実態を徐々に解明して頂けるものと大いに期待しているところであります。

最後になりましたが、発掘調査・整理作業・報告書作成において多大なご尽力を賜った埋蔵文化財調査室の皆様、および御協力・御助言を頂きました学内・学外の関係機関・関係者の方々に厚く御礼申し上げます。本報告書が、徳島城下町遺跡の調査研究、全国的な江戸時代の考古学的調査研究、さらには文化財保護の一助となることを願っています。

平成17年3月31日

国立大学法人徳島大学

学長 青野敏博

例 言

1. 本書は、2002（平成14）年に徳島大学埋蔵文化財調査室が実施した、徳島大学工学部実験研究棟改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 整理作業は、定森秀夫・堺圭子・平田順子・板東美幸が主に担当し、井本尚子・岸本多美子・安山かおり・山本愛子が補助した。出土遺物実測図のレイアウトは、徳島大学大学院生の石村友規が行った。
3. 本書の執筆は、第1章・第2章を定森が行い、第3章を根津寿夫氏（徳島市立徳島城博物館）、第4章を金原正明氏（国立大学法人奈良教育大学）・金原正子氏（古環境研究所）に依頼して、原稿を頂いた。
4. 本書の編集は、定森が行った。
5. 本書では、遺物実測図は原則として縮尺を1／3とし、遺構実測図は原則として1／40、1／200とした。図版の遺物写真は縮尺不同であり、図版の遺物番号は挿図の番号と一致する。
6. 本書で使用した座標の値は、世界測地系に基づく国土座標系の値である。方位は座標北、レベルは海拔標高である。
7. 発掘調査・整理作業では多くの方々に指導・教示を受けた。記して謝意を表します。
東潮・石尾仁志・石田啓祐・尾方めぐみ・勝浦康守・日下正剛・下田順一・菅原康夫・根津寿夫・平井松午・北條芳隆・北條ゆうこ・葭森健介
8. 発掘作業には、石川芳樹・岩田ナツ子・小嶋幸子・川田貞二・日下裕子・巢山太一・友竹崇明・中込正直・早瀬里見・松本孝弘・三木治郎・吉川真紀・余保美代子と、徳島大学学生の金沢義暁・岸田典子・原田靖宏が作業員として参加した。
9. 遺構・遺物の図面・写真は、徳島大学埋蔵文化財調査室で保管している。また、遺物も同埋蔵文化財調査室で保管しているので、研究・展示・社会教育などに広く利用されたい。

目 次

第1章 はじめに	1
第1節 調査に至る経緯と調査体制	1
第2節 調査方法と調査経過	4
第3節 遺跡の地理的・歴史的環境	6
第2章 調査の成果	10
第1節 調査の概要	10
第2節 土層	14
1. 土層の概要	14
2. 包含層出土遺物	14
第3節 江戸時代第3遺構面で検出された遺構と遺物	20
1. 素掘り船入状遺構S 41	20
第4節 江戸時代第2遺構面で検出された遺構と遺物	24
1. 石組み船入状遺構S 36	24
2. 土坑S 37	28
3. 土坑S 38	30
4. 土坑S 39	30
5. 土坑S 40	30
第5節 江戸時代第1遺構面で検出された遺構と遺物	31
1. 土坑S 16	31
2. 溝S 19	41
3. 土坑S 18	44
4. 土坑S 21	44
5. 土坑S 22	44
6. 土坑S 23	44
7. 土坑S 25	46
8. 土坑S 26	46
9. 土坑S 27	46
10. 土坑S 28	47
11. 土坑S 29	47
12. 土坑S 33	47
13. 土坑S 34	47
14. 土坑S 42	48

第6節	江戸時代第1遺構面上半で検出された遺構と遺物	48
1.	井戸S 08	48
2.	曲物埋設遺構S 09	49
3.	土坑S 05	49
4.	溝S 07	49
5.	土坑S 10	49
6.	土坑S 11	52
7.	溝S 12	52
8.	土坑S 13	52
9.	土坑S 14	52
10.	土坑S 15	52
11.	土坑S 20	53
12.	土坑S 24	53
第7節	明治時代水田面で検出された遺構と遺物	53
1.	水田S 01	53
2.	揚水施設S 04・暗渠S 17	53
3.	溝S 02	55
4.	土坑S 03	56
5.	土坑S 06	57
第8節	考古学的まとめ	57
第3章	安宅の移転について	根津寿夫 60
第1節	はじめに	60
第2節	安宅移転年に関する諸説	60
第3節	安宅の移転年について	68
第4節	安宅移転の理由とその意義	69
第5節	おわりに	70
第4章	常三島遺跡工学部電気電子棟地点における花粉分析	金原正明・金原正子 72
第1節	はじめに	72
第2節	試料について	72
第3節	方法	72
第4節	結果	73
第5節	考察とまとめ	76

挿 図 目 次

第1図	常三島遺跡位置図	1	第30図	土坑S 16 出土遺物実測図(4)	36
第2図	調査地位置図	1	第31図	土坑S 16 出土遺物実測図(5)	37
第3図	発掘調査区位置図	2	第32図	土坑S 16 出土遺物実測図(6)	38
第4図	常三島遺跡発掘調査地点図	4	第33図	土坑S 16 出土遺物実測図(7)	39
第5図	吉野川下流域地形図	6	第34図	土坑S 16 出土遺物実測図(8)	40
第6図	『徳島藩領国図屏風』安宅島部分拡大	7	第35図	土坑S 16 出土遺物実測図(9)	41
第7図	調査地点と絵図との重ね合せ図	8	第36図	溝S 19 実測図	42
第8図	遺構配置図(1)	11	第37図	溝S 19 出土遺物実測図(1)	43
第9図	遺構配置図(2)	12	第38図	溝S 19 出土遺物実測図(2)	44
第10図	遺構配置図(3)	13	第39図	土坑S 18・S 21・S 22・S 23・S 25・ S 26・S 27・S 28・S 29 実測図	45
第11図	調査区西壁断面図	15	第40図	土坑S 33・S 34・S 42 実測図	46
第12図	調査区東壁断面図	16	第41図	土坑S 18・S 27・S 28・S 42 出土遺物 実測図	47
第13図	調査区東西断面図	17	第42図	井戸S 08・曲物埋設遺構S 09 実測図	48
第14図	包含層出土遺物実測図(1)	18	第43図	井戸S 08 出土遺物実測図	49
第15図	包含層出土遺物実測図(2)	19	第44図	土坑S 05・S 20・S 24 実測図	50
第16図	素掘り船入状遺構S 41 実測図	21	第45図	溝S 07・S 12、土坑S 10・S 11・S 13・ S 14・S 15 実測図	51
第17図	素掘り船入状遺構S 41 出土遺物実測図(1)	22	第46図	曲物埋設遺構S 09、土坑S 10 出土遺物 実測図	52
第18図	素掘り船入状遺構S 41 出土遺物実測図(2)	24	第47図	水田S 01 実測図	54
第19図	石組み船入状遺構S 36 実測図	25	第48図	揚水施設S 04・暗渠S 17 実測図	55
第20図	石組み船入状遺構S 36 断面図	26	第49図	溝S 02、土坑S 03・S 06 実測図	56
第21図	石組み船入状遺構S 36 出土遺物実測図(1)	27	第50図	水田S 01、土坑S 03 出土遺物実測図	57
第22図	石組み船入状遺構S 36 出土遺物実測図(2)	29	第51図	『御山下画図』	63
第23図	石組み船入状遺構S 36 出土遺物実測図(3)	30	第52図	『忠英様御代御山下画図』	64
第24図	土坑S 37・S 38・S 39・S 40 実測図	30	第53図	常三島遺跡工学部電気電子棟地点における 花粉ダイアグラム	75
第25図	土坑S 16 実測図	31			
第26図	土坑S 16 出土遺物実測図(1)	33			
第27図	土坑S 16 出土火鉢・焔炉類拓本	33			
第28図	土坑S 16 出土遺物実測図(2)	34			
第29図	土坑S 16 出土遺物実測図(3)	35			

表 目 次

第1表	常三島遺跡(徳島大学構内)発掘調査一覧表	3	第4表	常三島遺跡工学部電気電子棟地点における 花粉分析結果表	74
第2表	素掘り船入状遺構S 41 出土土師皿量表	23			
第3表	安宅移転年比較表	68			

巻頭図版目次

巻頭図版第1	『徳島藩領国図屏風』徳島城下町部分	巻頭図版第3	石組み船入状遺構S 36(2)
巻頭図版第2	石組み船入状遺構S 36(1)		

図版目次

- 図版第1 常三島遺跡航空写真
- 図版第2 調査区西壁断面・調査区東壁断面(1)
- 図版第3 調査区東壁断面(2)・調査区東西断面
- 図版第4 江戸時代第3遺構面
素掘り船入状遺構 S 41
- 図版第5 江戸時代第2遺構面(1)
石組み船入状遺構 S 36
- 図版第6 江戸時代第2遺構面(2)
石組み船入状遺構 S 36
- 図版第7 江戸時代第2遺構面(3)
石組み船入状遺構 S 36、土坑 S 37～S 40
- 図版第8 江戸時代第1遺構面(1)
土坑 S 16
- 図版第9 江戸時代第1遺構面(2)
土坑 S 16
- 図版第10 江戸時代第1遺構面(3)
土坑 S 16
- 図版第11 江戸時代第1遺構面(4)
溝 S 19
- 図版第12 江戸時代第1遺構面(5)
土坑 S 18・S 21・S 22・S 23・S 25・S 26
- 図版第13 江戸時代第1遺構面(6)
土坑 S 28・S 29・S 33・S 34
- 図版第14 江戸時代第1遺構面上半(1)
井戸 S 08
- 図版第15 江戸時代第1遺構面上半(2)
井戸 S 08、曲物埋設遺構 S 09
- 図版第16 江戸時代第1遺構面上半(3)
井戸 S 08、曲物埋設遺構 S 09、土坑 S 05、
溝 S 07、土坑 S 10・S 11・S 15
- 図版第17 江戸時代第1遺構面上半(4)
溝 S 12、土坑 S 13・S 14・S 20・S 24
- 図版第18 明治時代水田面(1)
水田 S 01
- 図版第19 明治時代水田面(2)
揚水施設 S 04・暗渠 S 17
- 図版第20 明治時代水田面(3)
揚水施設 S 04・暗渠 S 17
- 図版第21 明治時代水田面(4)
暗渠 S 17、土坑 S 03・S 06、水田 S 01 サン
プル採集地点
- 図版第22 包含層出土遺物
- 図版第23 素掘り船入状遺構 S 41 出土遺物(1)
- 図版第24 素掘り船入状遺構 S 41 出土遺物(2)
- 図版第25 石組み船入状遺構 S 36 出土遺物
- 図版第26 土坑 S 16 出土遺物(1)
- 図版第27 土坑 S 16 出土遺物(2)
- 図版第28 土坑 S 16 出土遺物(3)
- 図版第29 土坑 S 16 出土遺物(4)
- 図版第30 土坑 S 16 出土遺物(5)、溝 S 19 出土遺物、土坑
S 27 出土遺物
- 図版第31 井戸 S 08 出土遺物、曲物埋設遺構 S 09 出土遺
物、水田 S 01 出土遺物、土坑 S 03 出土遺物、
碁石・火打石・加工円盤
- 図版第32 工学部電気電子棟渡り廊下設置解説板
- 図版第33 常三島遺跡工学部電気電子棟地点の花粉・寄生
虫卵